

＜はや立夏＞ゴールデンウィークを挟んだこの時期は暦の上で春から夏に移る境目、穀雨から立夏、に当たります。天気も安定し心地よい日が多いはずなのですが、今年は気温が高めで風強く大荒れの日が多いですね。数少ない晴天の日にスッキリと見えた富士の写真を2つ載せました。見比べると春から夏に向かう富士と雑木林そして空の変化が感じられます。



す。 <右上：4月18日、SHC近隣、右下：5月4日>→ただ、例年に比べて富士に雪が少ないですね。



＜春の退場＞とりわけここ数年、春が足早に去ってすぐに夏になるような気がします。大型連休を無為に過ごした後の野辺や林は早や夏の気配で



す。時機を逸した感が

ありますが、春の華やぎを2つお届けします。まずキンラン(左写真)、これを目にするのが4月下旬から5月初旬に雑木林に分



け入ったときの楽しみの一つです。



そしてヤマザクラの後の雑木林を華



<アザミ>

<蜜を吸うオナガアゲハ>

やかにするのが梢に懸かるフジの花です。これらの花が退場し、いま野辺で映えるのがアザミ(薊)です。器量の良くない花とされる

のですが、「薊の花も一盛(ひとさかり) (“鬼も十八、番茶も出花”と同義)」の通りとても綺麗です。「花咲くや今十八の鬼あざみ(一茶)」、もう一句「くもり来しひかりのなかの薊かな(万太郎)」。オナガアゲハが花に惹きつけられ盛んに蜜を吸っています。 <右上：クサイチゴの実、右下ナワシロイチゴの花>→



＜はや足の夏＞野辺では早やクサイチゴの実が熟し、丘の斜面にはナワシロイチゴの花が咲いています。これも後ひと月もすれば赤い実が熟して食べられるようになるでしょう。「ほろほろと谷にこほれるいちご哉(子規)」はクサイチゴでしょうか。「ほろほろと手をこほれたるいちご哉(子規)」は庭や畑に植わる苺でしょう。



う。それにしてもやはり暑くなるペースが速いですね。シロダモの新芽は2週間ほど前に銀色に輝いていたのですがもう大きな若葉になっています。身近にいるスズメやセキレイ

たちも子育ての季節なのですが巣が暑くなって大変なのはと

<セグロセキレイ>

余計な心配をさせていただきます。

(文と写真：松本正勝)